



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大150kgとなります。枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

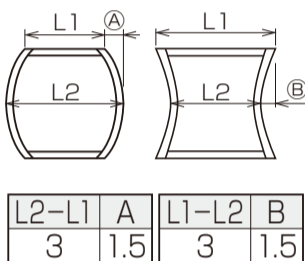
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押し込みましたか?	<input type="checkbox"/>
2	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか?(目安 1000mmあたり30mm)	<input type="checkbox"/>

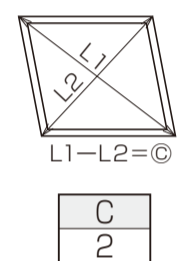
■取付け上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク 1.5 ~ 2.0N・m {15~20kgf・cm} にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

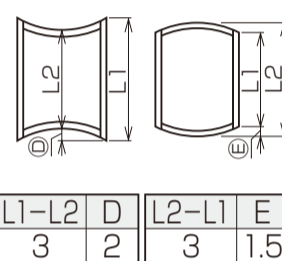
■サッシ枠の フレツツミ



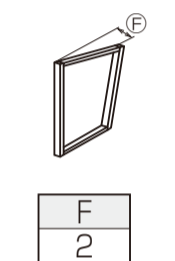
■サッシ枠 対角差



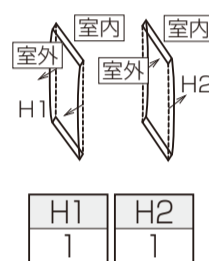
■サッシ上下枠の 内反り・外反り



■サッシ枠の ねじれ



■サッシ枠の 室内外の反り



- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5 ± 1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm) アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。
- 特殊薄板を使用したトリプルガラス(室内側)に吸着チャック(吸盤)を使用される場合、エッジから200mm以内の位置に吸着して使用してください。ガラスのたわみの影響を受けにくく、安定して取付けることができます。

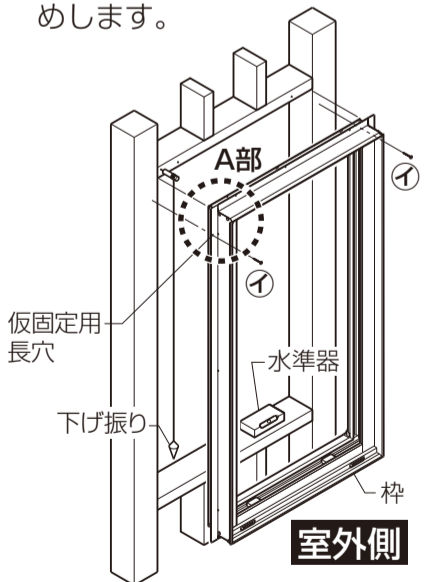
■取付けねじ・押縁一覧表

①~⑧	⊖	押 縁	
枠取付けねじ(低頭ねじ) φ 3.1 × 25	丸木ねじ φ 3.5 × 25	上用 / 1本	縦用 / 2本

■取付け順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に①枠取付けねじで枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ②を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ③、④を固定します。
- ※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がこぼれ樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

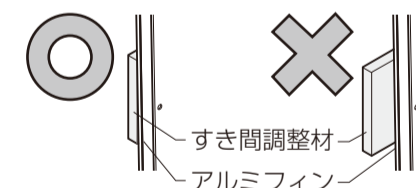
■B部詳細図

- ※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けてください。



○お願い

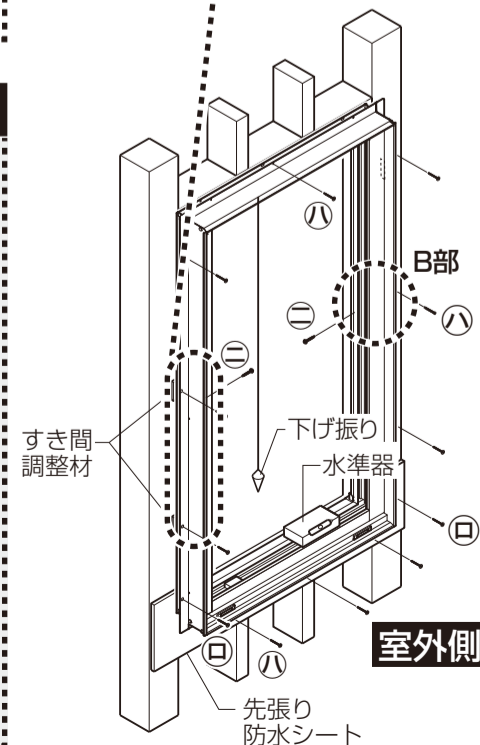
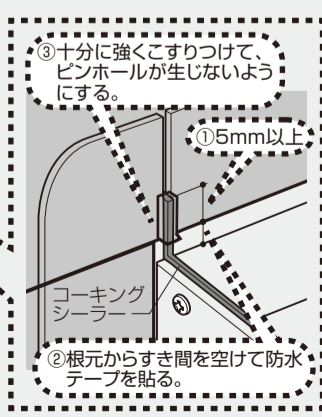
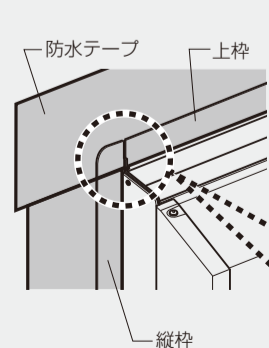
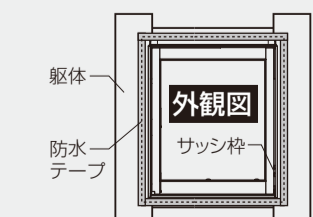
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



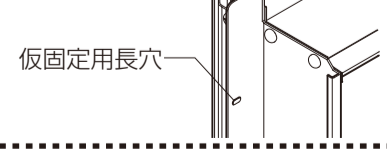
▲注意

- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に下記①~③に従って、防水テープ(別売り)を張ってください。

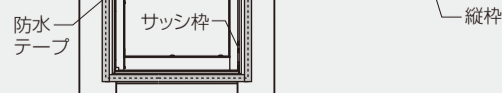
- ① コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ② 根元からすき間を空ける。
- ③ ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。



■A部詳細図



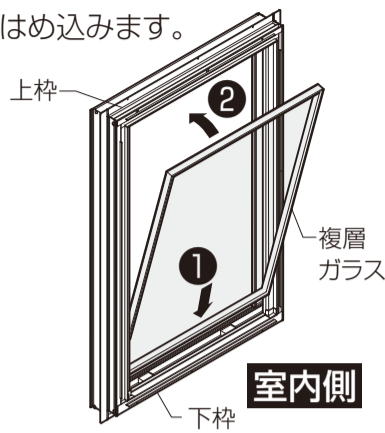
■外観図



■取付け順序

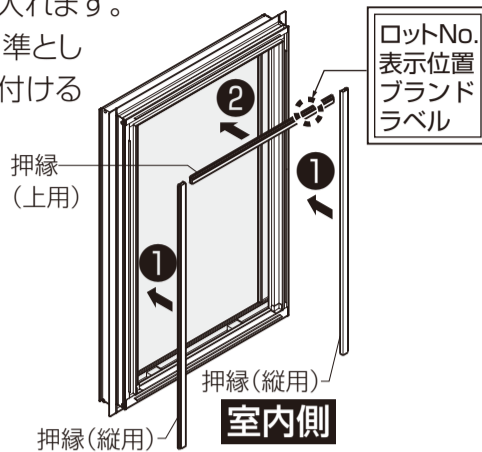
■3 ガラスの建込み

- 下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



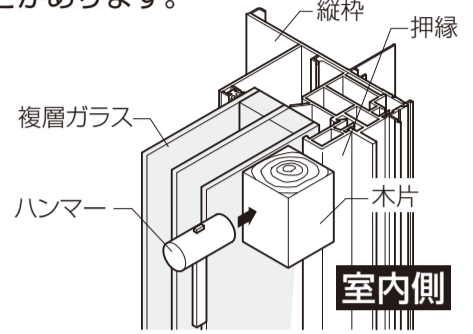
■4 押縁の取付け

- 縦→上の順に押縁を入れます。
- ※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
- ※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



お願い

- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。



■5 後付けビードの取付け

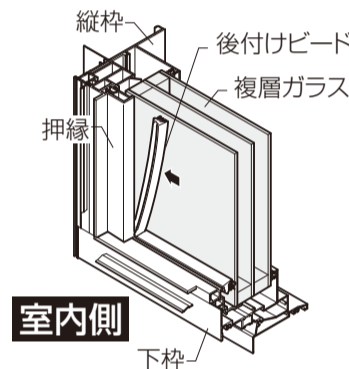
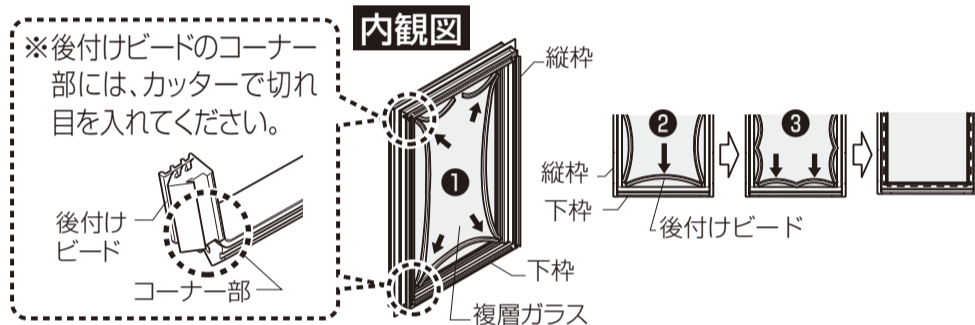
- 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押し込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。

[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]

- 図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押し込みます。

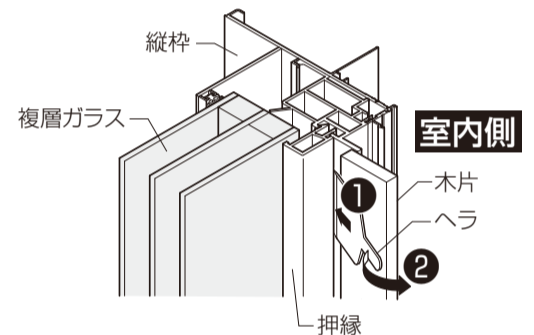
【ビードの押し込みがきつい場合】

後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



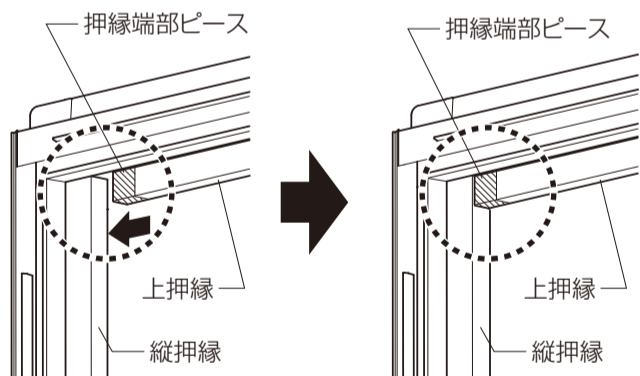
■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

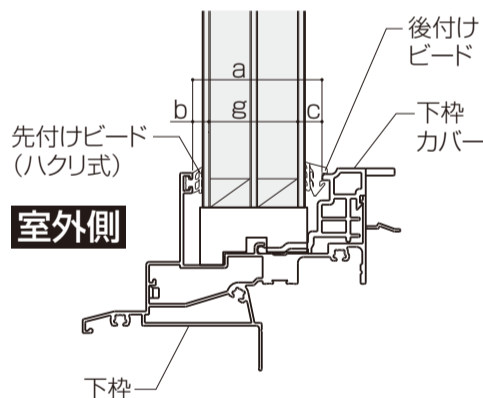


■押縁端部ピースの調整

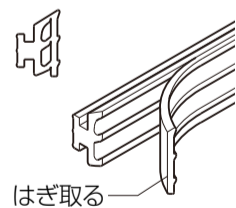
- W>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。



■ガラスビードの使用区分



■先付けビードのハクリ方法



■PG(複層ガラス)トリプルガラス(kr) a=34

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
22	3-16-3	4	8
23	3-16-4	3(ハクリ)	8 ECZ□11
24	4-16-4	4	6
25	5-16-4	3(ハクリ)	6 ECZ□33
26	5-16-5	4	4 ECZ□35
27	6.8-16-4 3-10-1.3-10-3	4	3 ECZ□36

■トリプルガラス(Ar) a=45

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
35	3-14-1.3-14-3	4	6 ECZ□33

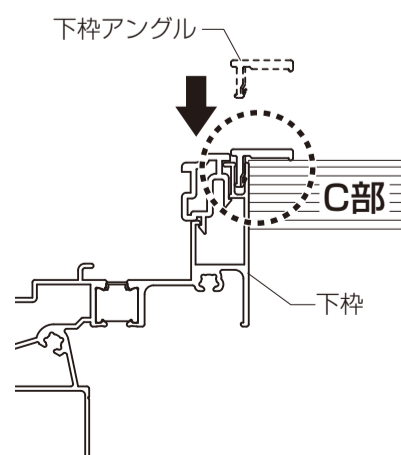
■下枠アングルの取付け

■下枠アングルの取付け(テラスのみ)

- ※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
- ※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●下枠アングルがねじレスの場合

- ①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
- ②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
- ③内装材に強く押付けて圧着します。



■C部詳細図

